

## 第2学年国語科学習指導案

日 時 平成25年10月22日(火) 1校時  
 場 所 永井小学校 2年2組教室  
 児 童 男11名 女10名 計21名  
 指導者 堀合 恒幸

- 1 単元名 クラスの友だちのしょうかい文を書こう  
 教材名 「友だちのこと、知りたいな」(光村図書2年下P26～31)

### 2 単元の目標と評価規準

#### (1) 単元の目標

- 友達のよいところを意欲的に探し、紹介文を書こうとしている。 【関心・意欲・態度】
- ◎ 友達のよいところを見つけ、構成を考えて、友達を紹介する文を書くことができる。 【書くこと(1)ア】
- 内容のまとまりごとに幾つかに分けて配置することを意識して書くことができる。 【書くこと(1)イ】
- ◎ 紹介したいことの中から一番紹介したいことを、箇条書きや、絵に添えた文などの形でメモすることができる。 【書くこと(1)ウ】
- 友達が書いた紹介文を読んで感想を伝え合うことができる。 【書くこと(1)オ】
- 句読点やかぎ(「」)の使い方を理解し、正しく使うことができる。

【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項(1)イ(オ)】

#### (2) 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	書く能力	言語についての知識・理解・技能
○友達のよいところを意欲的に探し、紹介文を書こうとしている。	○友達について、自分が知っていることや尋ねたことから題材を決めている。 ○紹介したいことについて、内容のまとまりごとに分け、書く順序を考えている。 ○紹介したいことの中から一番紹介したいことを、箇条書きや、絵に添えた文などの形でメモしている。 ○友達に書いた紹介文を読んで感想を伝え合っている。	○句読点やかぎ(「」)の使い方を理解し、正しく使っている。

#### (3) 単元を貫く言語活動

- 友達について知りたいことを思い出したり尋ねたりして、紹介文を書く活動

### 3 単元について

#### (1) 子どもの実態

子どもたちは、これまでに「書くこと」の学習として、「かんさつ名人になろう」では栽培していたミニトマトの観察を通して、知らせたいことがよくわかるように必要な事柄を集め、整理して観察文を書く学習を行った。「お話のさくしゃになろう」では、絵から登場人物の行動や会話、場面の様子を想像し、はじめ・中・終わりの簡単な構成を考えながらお話を書く活動を行ってきた。しかし、書くことに対して意欲的に取り組む児童が増えてきている一方、話し言葉のまま文章にしまったり、書く順序をよく考えずに、書いている流れや場面にそぐわないような内容を不必要な場面に付け加えて書いてしまったりする児童も多い。そこで、本単元では友達とのやり取りのすべてを文章にするのではなく、どの部分をどのように紹介するかを考えさせる指導を行い、簡単な構成を意識した文章を書くことができるようにしたい。

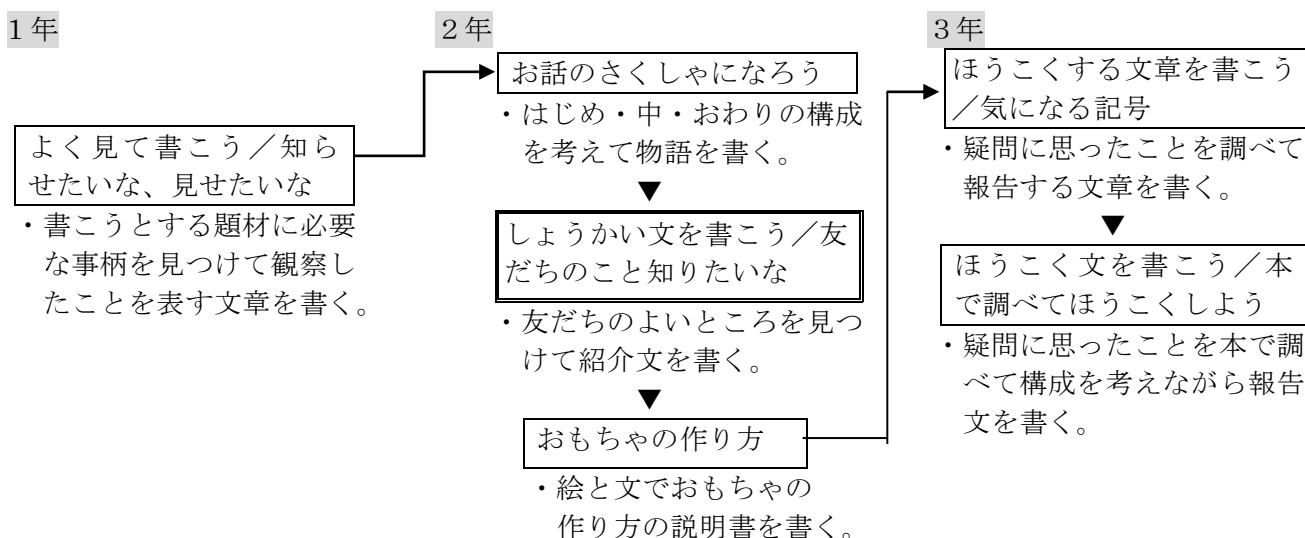
#### (2) 教材について

この学習は、友達のよいところを見つける活動から始まる。友達の「よいところ」をすぐに見つけられる児童は少ないであろう。そこで、思い出す観点を与え、普段の友達の姿を様々な場面

から考えさせる。次に、相手に尋ねて材料を集める「話す・聞く」の活動に取り組む。「話す・聞く」の活動では、しっかりと友達と対話する姿勢が大切である。2年生の児童にとっては初めてのインタビュー活動であるから、質問の仕方や答え方などを例示しておくことが必要となる。また、書き方を学ぶにあたって、例として挙げられている紹介文を「読む」活動がある。読みながら自分はどうか、何を書かかの見通しをもつことができる構成になっている。特に口頭で文章を言い換えたり、部分的に「伝聞」「理由」の言い方を練習したりすることが自分の文章を書くときに生きてくるものと思われる。

このように「書くこと」の指導だけではなく、書くために必要となる「話すこと・聞くこと」「読むこと」の力の育成も期待できる教材である。

◎単元の位置づけ【言語活動の系統】



(3) 指導について

指導にあたっては、特に次の2つのことを意識して指導する。1つ目は、書こうとする題材に必要な事柄を集める方法を身に付けさせることである。自信をもって取材活動ができるようにするために、取材メモの書かせ方を工夫したり、メモの取り方や聞く相手に対する尋ね方（聞く内容や聞き方）を練習させたりなどの時間も設ける。2つ目は、メモをもとに紹介文に書き表す方法を身に付けさせることである。取材したメモを使い、それを並べ替えて書き表す順序を考えることによって、簡単な文章構成をして文章を書くことができることよさを実感させたい。また、構成する際にそのメモが必要なメモかそうでないかの選材についても指導したい。そして、それらの簡単な構成を考えた後で、メモから文章に書き表す方法を指導していきたい。

4 単元の指導計画と評価計画（全8時間）

次	時	主な学習内容と学習活動	評価規準
1	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>「これはだれでしょうクイズ」を通し、友達のことをもっと知りたいという気落ちを高め、紹介文を書くという見通しをもつ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>☑ 友達のよいところに関心を持ち、紹介文に書こうという意欲をもっている。(発言)</li> <li>☑ 単元の学習の見通しをもつことができる。(発言・観察)</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>教材のモデル文を読み、友達を紹介するために必要なことを知る。</li> </ul>	
2	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>「友だちのよいところを見つけましょう」を読み、友達を紹介するための一つの観点を理解する。</li> <li>紹介する友達のよいところを観点に沿って思い出し、取材メモに書き込む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>☑ 友達を紹介するための一つの観点を理解している。(発言・観察)</li> <li>☑ 友達のよいところを観点に沿って思い出してメモしている。(学習シート)</li> </ul>

3 4 5 6 7	3	・友達のことをもっと知るために尋ねる内容と方法を考える。	出し たり 尋 ね た り し て 紹 介 文 を 書 く。	☑ 友達のよさを知るために、尋ねる方法を理解している。(観察)
	4 (本時)	・尋ねる内容と方法をもとに、紹介する友達に尋ねてカードに記入する。		☑ 話題に沿って友達のよさを尋ねる方法を理解し、積極的に尋ね、尋ねたことをメモしている。(観察・学習シート)
	5	・教材のモデル文を読み、紹介文の構成や工夫を整理し、書き方のポイントをつかむ。		☑ 友達のよいところが、みんなに伝わるような文章の書き方を理解している。(観察)
	6 7	・取材メモを整理し、友達のよいところを紹介文にまとめる。 ・清書した紹介文をチェックカードをもとに見直す。		☑☑ メモをもとにしなが、構成に注意して紹介文を書いている。(観察・原稿用紙)
3	8	・紹介文を読み合い、交流する。		☑ お互いの紹介文を読み合い、感想を伝えている。(観察・付箋)

## 5 本時について

### (1) 本時の目標

書こうとする題材について、紹介するために必要な事柄をメモに書くことができる。

### (2) 本時の評価規準

観 点	評価規準 (B)	評価方法	(B) を実現していない児童への手立て
話す・聞く能力	話題に沿って尋ねる方法を理解し、積極的に尋ね、尋ねたことをメモしている。	観察・学習シート	紙板書の質問の仕方のどのパターンが合うかを考えさせたり、メモの取り方を確認したりする。

### (3) 本時の展開

段階	学 習 活 動	指導上の留意点 評価 (◇) 言語活動 (*) (形態)
導入 (5分)	1 本時の学習課題を確認する。 友だちのよいところを見つけるために、くわしくたずねてメモしよう。	○前時には、相手に尋ねる内容や方法を考えたことを確認し、本時はそれを使って実際に取材メモを書く活動を確認することを確認する。
展 開	2 本時の学習の見通しをもつ。 ・課題についての見通しをもつ。	○詳しく知るために2つ以上の質問をすることを確認し、質問の例を紙板書する。
	3 取材メモのとり方の練習をする。 ・教師にインタビューするという形で練習する。  聞き方の例 ☑ 先生が得意なことは何ですか。 ☑ ○○です。 ☑ どうしてですか。 ☑ ○○が○○だからです。 ☑ どれが (何が) 一番○○ですか。 ☑ ○○が一番○○です。	○児童から教師へ質問するという形で手本を見せてメモの取り方を確認する。(全体) ○最初の挨拶の仕方、尋ねるときの丁寧な話し方、相手の目を見てしっかりと聞くことなども指導する。 ○全員で板書しながら質問の答えに合わせたメモの取り方を確認する。(学習シート) ○メモの取り方は、基本的に「何が (を) どうした」という形「○○が (を) ○○だから」で書くことを指導する。
	4 練習したことをもとに、紹介する友達に尋ねてメモを取る。 ・ペアになり、互いに質問する。	* 2人か3人(一組だけ)組のペアで質問し合いメモを取り合う。(学習シート) (ペア) ○最初は、全体で1つの質問をするごとにメモが書

35分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 交替して質問する。</li> <li>・ 書けたメモについての交流をする。</li> </ul> <p>5 相手に尋ねてメモを取るときのポイントをまとめる。</p>	<p>けたか確認しながら進める。</p> <p>◇話題に沿って友達のよさを尋ねる方法を理解し、積極的に尋ね、尋ねたことをメモしている。(観察・学習シート)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○役割を交替するときには、一斉に交替する。</li> <li>○終わっているペアは、メモの取り方がよいか見合っって待つように指示する。</li> <li>○友達のこと初めて知ったよいところを感想を含めて交流し合う。(全体)</li> </ul>
終末(5分)	<p>6 本時の学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 自己評価をする。</li> <li>(2) 振り返りを交流する。</li> </ul> <p>7 次時の学習内容を確認する。</p>	<p>○相手に尋ねてメモを取るときのポイントが分かったか、積極的に聞いたりメモでしたりできたか振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○感想を含めて発表できるようにする。</li> <li>○次時は、教材のモデル文を読み、紹介文の構成や工夫をつかむ学習を確認する。</li> </ul>

聞きたいことをよく考えて聞き、わかりやすいメモを取る。尋ねたり、メモしたときに大事なことを確認する。

(4) 板書計画

メモを取るときには、聞きたいことをよく考えて聞き、作文に書くときにわかりやすいメモを取るよ

先生のとくいなこと

- ○ がとくい ←
- ① どうして… ○ ○ が ○ ○ だから
- ② 何が いちばん… ○ ○ が いちばん ○ ○
- ③ これから… ○ ○ で ○ ○ したい

友だちのよいくところを見つ

友だちのよいくところを見つ

◎ 友だちのことではじめて知ったこと

- ・ ○ ○ さんが ○ ○ が とくい
- ・ ○ ○ さんが ○ ○ が とくい
- ・ ○ ○ さんが ○ ○ が とくいで とくに ○ ○

◎ メモをとる れんしゅう

- ・ (もつとくわしく知るためのたずねかた)
- ・ いつからですか。
- ・ どうしてですか。
- ・ どうやって、くですか。
- ・ どれが (何が) いちばんくですか。